

史料編



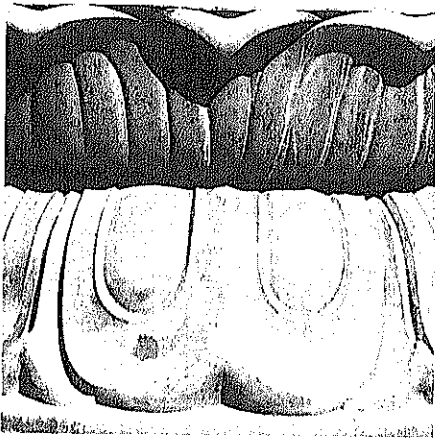
正面から見た阿弥陀如来坐像



左側面



右側面



反花・請花



背面

本史料は、飯沼観音の境内に置かれる阿弥陀如来坐像の体軀と台座に刻まれた銘文を翻刻したものである。翻刻にあたっては、如来坐像に刻まれた実際の銘文の意味を損じない程度において、以下のように扱った。

- ・ 異体字等は、基本的に常用の字体に改めた。
- ・ 欠損などにより文字の判読ができないとき、その字数を推定して□、あるいは「」で示した。
- ・ 体軀については、模式図のように銘文のまとまりごとに区画を設けて翻刻した。
- ・ 台座となる連弁を構成する反花と請花については、それぞれの文様に従い模式図のように、反花についてはaからeまで、請花についてはaからhまでの区画を設けた。請花と請花との間にある連肉に刻まれた銘文については、便宜上その連肉の右側にある請花に属するものとして区画した。
- ・ 坐像、台座ともに、各銘文の位置関係を復元できるように心がけた。
- ・ 銘文の中には、後世に加筆・修正されたと思われるものが若干含まれるが、本翻刻では区別せず翻字した。
- ・ 写真はすべて、平成十五年三月に撮影したものを使用した。

板東観音霊場第二十七番札所である飯沼観音（銚子市場町）は、江戸時代を通じて、銚子内外から多くの信仰を集めた。そのため、観音堂には数多くの寄進が行われた。現在も境内に安置されている、青銅製の阿弥陀如来坐像もその一つである。

像の右肩前面には、正徳元年（一七一）の銘と、願主が刻まれている。願主は当時飯沼山金剛照院円福寺（飯沼観音の別当寺）の住持であった法印権大僧都貫恵、前願主は木食幽深法師であった。鋳造者は不明である。

宝暦十二年（一七六二）から安永四年（一七七五）にかけて本堂（観音堂）を再建した時の顛末記である『本堂再建記録』（歴史地理学調査報告第九号別冊、二二一―六七ページ、二〇〇）の中で、境内に露仏が描かれていることから、この時期にも阿弥陀如来坐像は境内に鎮座していたことが分かる。現在、修復が加えられているものの、一丈七尺余りの坐像には、第二次世界大戦中に被弾した痕が刻まれ、この像が、凡そ三世紀間風雨に絶え、人々の信仰を見守ってきたことを伝えている。

像には、体軀から台座の連弁に至るまで、約二千二百名にもほる寄進者の名前が、一人一人線刻されている点特徴的である。寄進の理由は、「為二親」、「二親菩提」、「為母」、「二親成仏」、「夫婦菩提」、「一切菩提」、「代々先祖菩提」、「為俄鬼」などであり、もっとも多い理由は両親の菩提を申うことであった。

寄進者名の刻まれ方には一定の方向性があり、当該期の地域内の社会構造を反映している。すなわち、像の体軀に刻まれている者は、願主である円福寺の住持や、寺中十坊と呼ばれた円福寺の塔頭などの寺内関係者をはじめ、飯沼村・小川戸村・新生村・高上村といった近在村の村役人、金一分以上を施した土地の分限者などである。中でも、個人としては、金五兩を寄進して背面上部に刻まれた田中玄蕃が一際目立っている。

台座の連弁(請花・反花部分共)には、飯沼・小川戸・新生・高神・松岸・荒野・辺田・三崎・今宮・名洗・笠上などをはじめとする、近在村在住者の個人名や集団名が数多く刻まれている。個人名の中には、「ヲカメ」、「ヲナツ」などの女性名も少なくない。集団名の場合は、「小川戸念仏講中」、「飯沼田中念仏講中」、「田中清左衛門内義念仏講中」などのように、念仏講がほとんどである。念仏講中は全部で十五集団程を数え、当時は、現在の銚子地域の各所に講組織が発達していたことが明らかである。

また、請花部分には、水戸・相馬・仙台・南部などの遠隔地在任の寄進者名も、わずかながら刻まれている。特記すべきは、それまで銚子と非常に深いつながりを有していた、紀州をはじめとする近畿地方からの寄進者が見られないことである。飯沼観音には、寛文九年(一六六九)に寄進された釈迦涅槃図(歴史地理学調査報告第九号別冊、六―二二ページ、二〇〇〇)があるが、その涅槃図は、数多くの近畿地方出身者の寄進を受けていた。これらの差異は、銚子をめぐる地域構造の変化を知る上で重要な示唆を与えている。

なお、近世における飯沼観音のあり方、および、銚子特有の地域構造の変化の過程については、次の諸文献を参照されたい。

(阿部 綾子)

【参考文献】

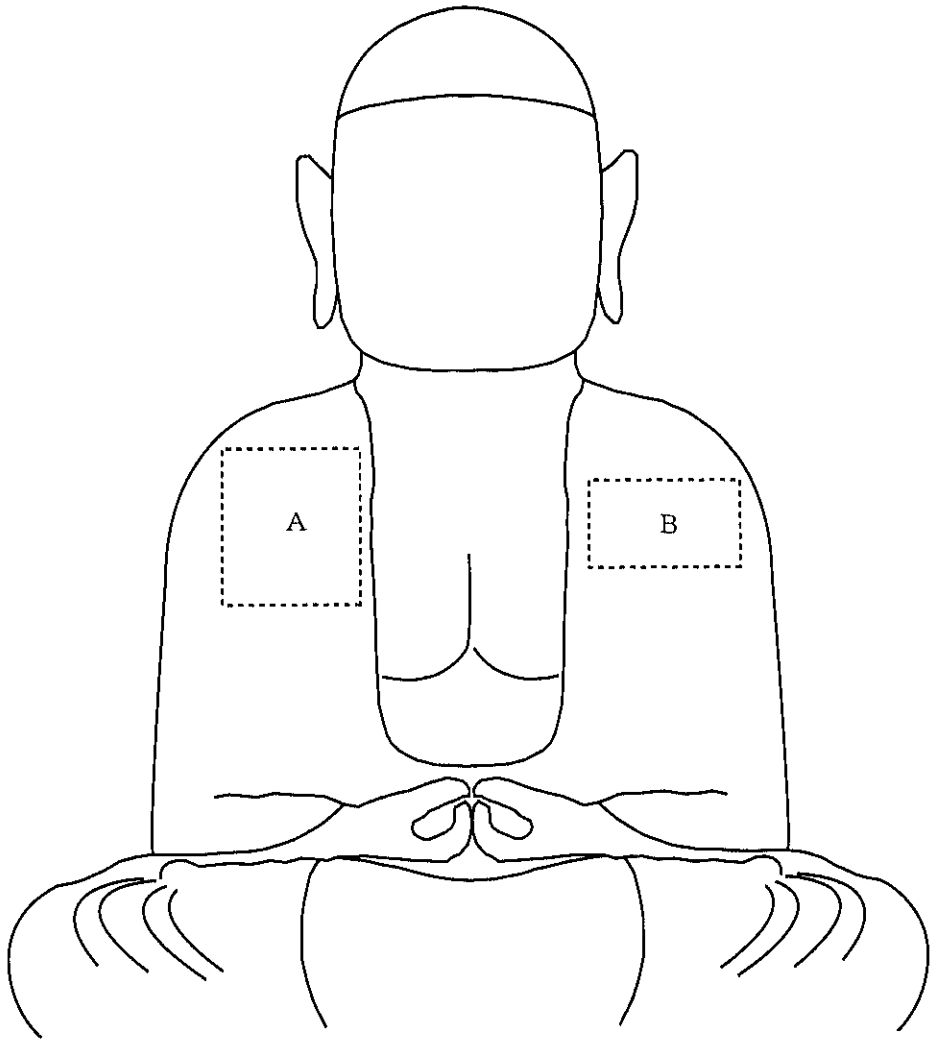
- 長谷川匡俊 「近世の飯沼観音と庶民信仰―開帳と本堂再建勸化をとおしてみたる―」淑徳大学研究紀要第八号、一九七四
- 松杉力修・渡辺康代 「港町銚子の機能とその変容―荒野地区を中心として―」歴史地理学調査報告第八号、一九九八
- 三木一彦 「下総国海上郡高神村の形成と紀州移民」歴史地理学調査報告第九号、二〇〇〇

- 山澤 学・蓼沼(阿部) 綾子 「飯沼観音信仰と一七世紀の銚子―「飯沼山観世音縁起」を中心に―」歴史地理学調査報告第九号、二〇〇〇
- 蓼沼(阿部) 綾子 「銚子における地域間関係の変化―円福寺院組織と飯

阿部綾子

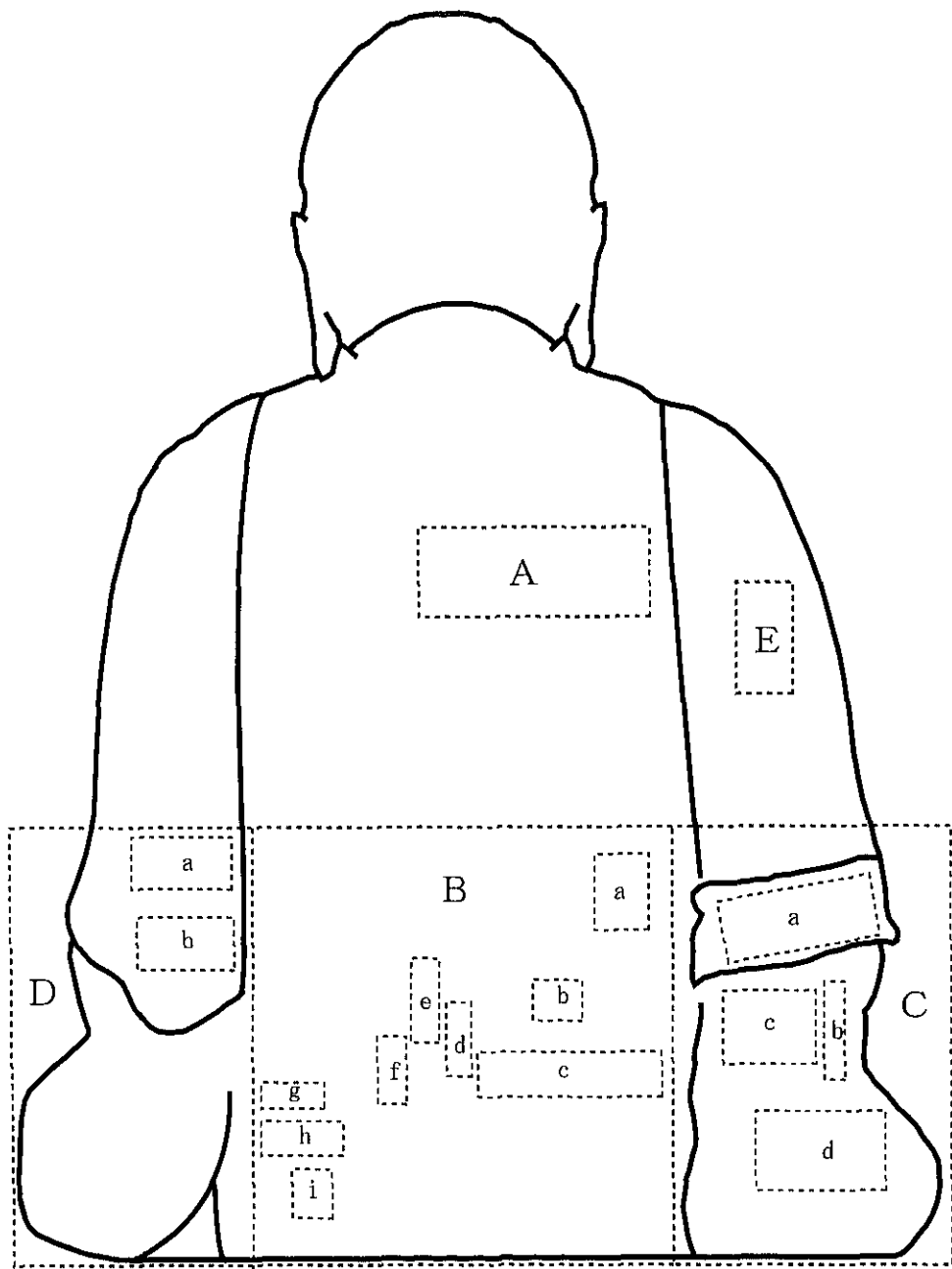
沼観音支持者に見る―」歴史地理学調査報告第一〇号、二〇〇二

「銚子における「旅漁師」と「旅商人」の定着過程に関する一考察」国立歴史民俗博物館研究報告第一一五集、近刊予定

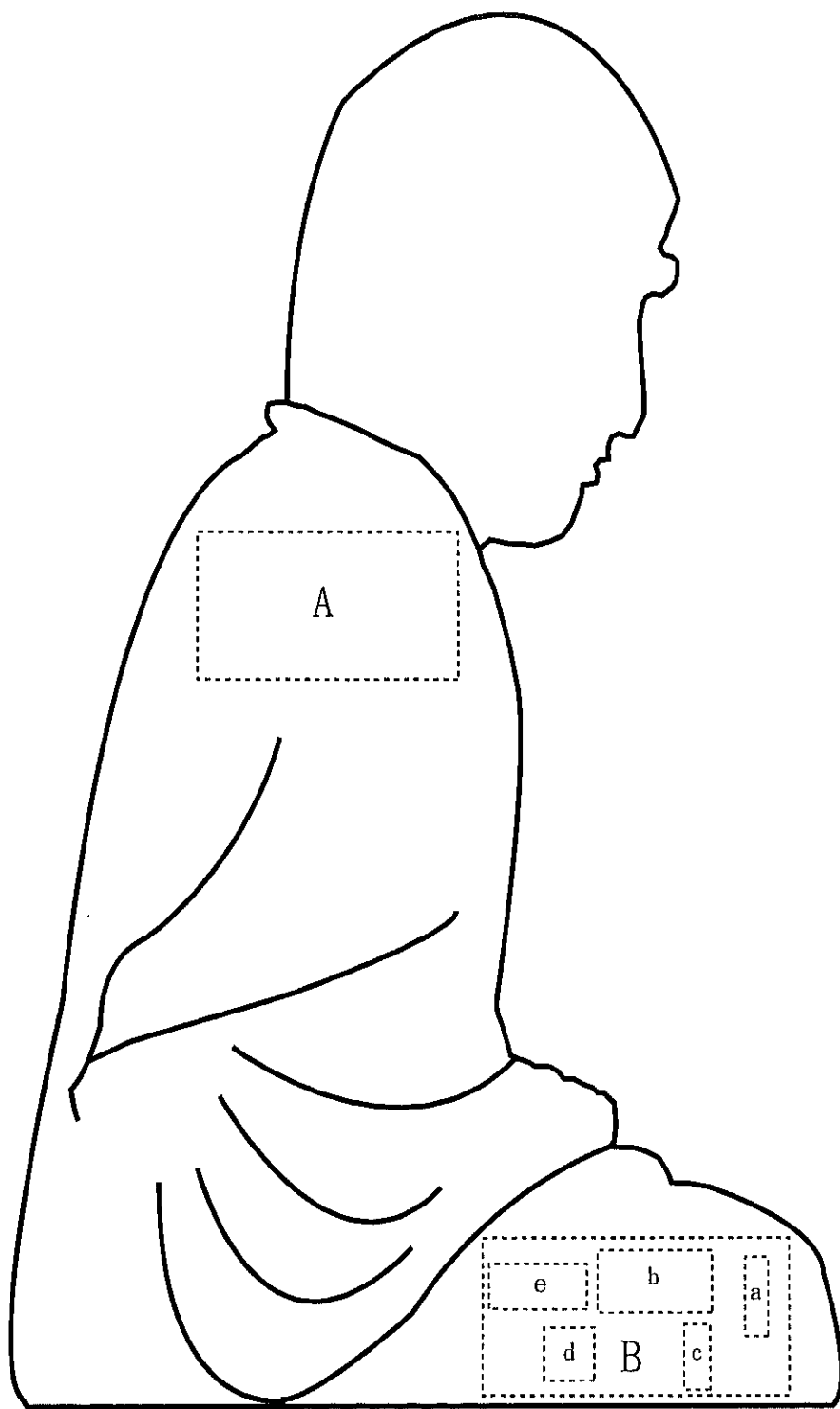


正 面

(11)

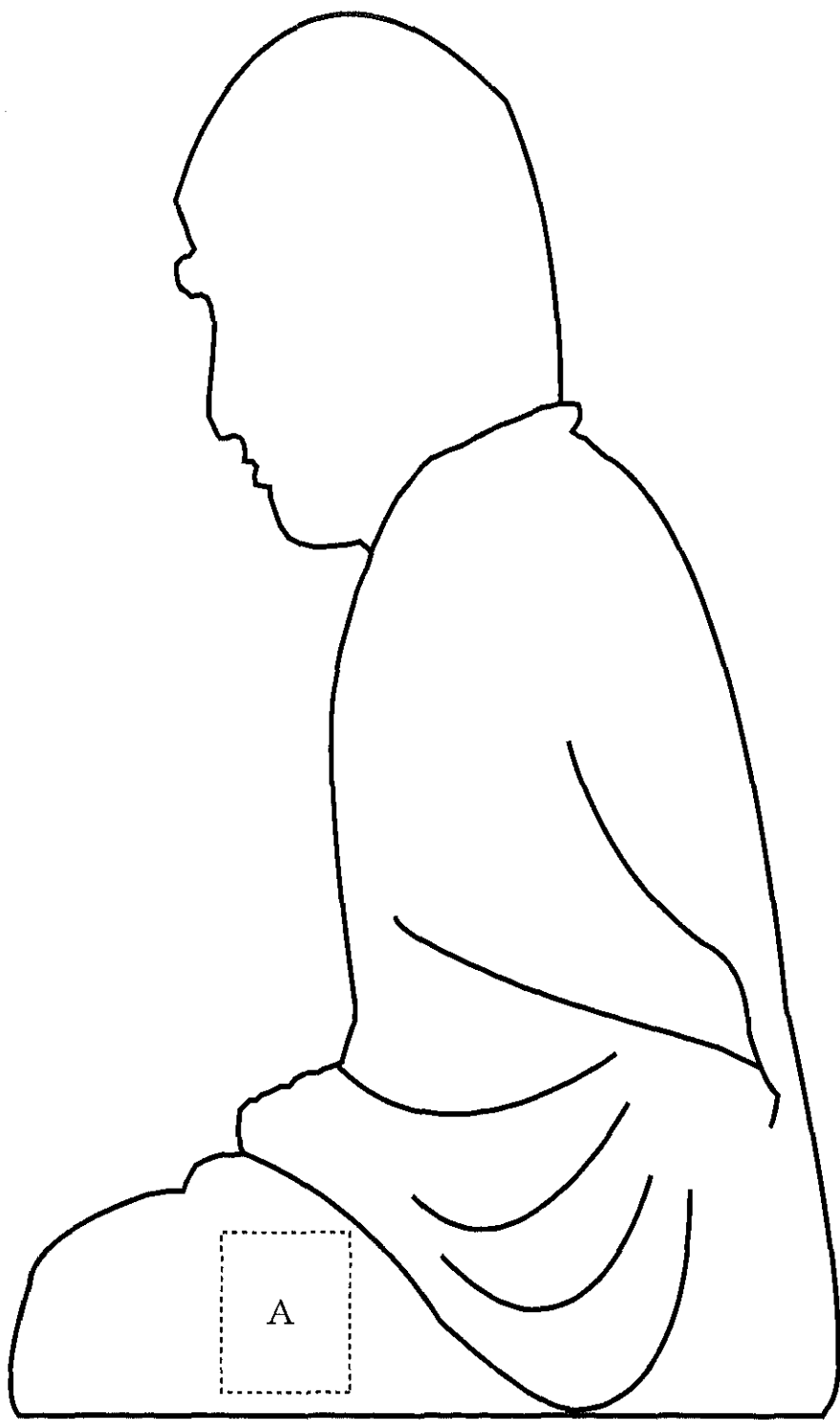


背面



右側面

(五)



左側面

正面 A

下総国海上郡飯沼山金剛照院円福寺
願主 法印権大僧都貫惠
金子百三十両
前住職円福寺法印権僧都海惠
前願主木食幽深法師
信心施主大根村藤右衛門同心了知
正徳元辛卯十月廿四日

正面 B

東性院栄惠 円養院深惠
光権院秀惠 尊乘院寛惠
来福院深惠 普門院信惠
鏡智院法印良惠 証誠院伝惠
阿弥陀院法印鏡惠 成就院光惠

背面 B (a)

寺井七郎右衛門
同七兵衛
酢や
権兵衛

背面 B (b)

金一分
安住
大田茂右門

背面 A

金五両 盛樹道讚
栄樹道讚 暖節昌全
観秋妙善 眼眼道本
芳替定範 清山常栄
鏡覚妙璠 宝雪妙光
积尼妙玄 夏月童子
二親菩提 玄藩妻
当村 田中玄藩
イセヤ源之丞 磯 儀右門
当村名主組頭
田中四郎右門
四郎右門
弥右衛門
五郎右門
仁兵衛
四郎兵衛
助四郎
金左衛門
イカイ子
李右門
久兵衛

背面 B (d)

スルカヤ
金一分百兵衛

背面 B (c)

柳瀬金一分 柳瀬金一分
ウドンヤ 弥右門
源太郎一分
田ベ 角之丞一分
アミ中 勘兵衛金貳分
アミ中 勘兵衛金貳分
ハ、 市兵衛金貳分
同 与三右門金一分
古屋 小仁兵衛金一分
大工 清右門金一分
平吉
当村
大工 忠兵衛
大工 伝八郎
アイヤ 一郎兵衛
サカイ 庄右門
サカイ 長右門

背面 B (e)

田丸屋
市兵衛

背面 B (f)

ツノ国屋
金一分八兵衛

背面 B (g)

ゴハン¹ 春齋
イマミヤ² 飯田平右衛門
アラライ³ 関玄口
左藤嘉兵衛

背面 B (h)

為娘鬼
空¹
ゴハン² 藤右門
酢や
金一分五郎七
同内方

背面 B (i)

三十三観音
西元

(七)

背面C(a)

金二両	代々先祖菩提
道正居士	渡及武右門
妙教信女	種宗
浄真信士	妻スキ
庭月妙清	娘ラキン
道徳信士	同子イ
慈円法師	願主当村
頼入童子	惣右衛門
妙幻童女	同ツマ

背面C(b)

金子金両外川長崎網中商人中

背面C(c)

水戸屋又七	金一両
夕陽	浄智
理円	六親
七世	アミ中
助右門	為
戸木権七	

背面C(d)

六親菩提	高田や
同所	伊左門
芝	仁左門
源之丞	
清十郎	
清覚子	清水
イセヤ	善太夫
小平次	アモヤ
吉左門	

背面D(a)

多田甚右門
同甚五兵衛
同茂平次
田中源太左門
大工忠右門
田中平兵衛

背面D(b)

当村和田沼 ³	重右門
水戸や	仁兵衛
湊や	小左門
亀や	伝左門
エトや	甚右門
ヒタチや	伝兵衛
藤や	長右門
井筒や	

背面E

へ夕金左門
渡部金左門

右側面A

アミ中	李左衛門
アブラヤ	久右エ門
伝右衛門	

右側面B(a)

大戸川 ⁶	金一分久保井七郎兵衛
------------------	------------

右側面B(b)

施主飯沼村 ⁷	名主四郎右衛門
妙泉	イセ
道光	甚左衛門
施主分同村	保源源兵衛
源泉妙円	妙某
高山清峯	門味休山
大根村	綱木作右衛門

右側面B(c)

孝氏	左兵衛
----	-----

右側面B(d)

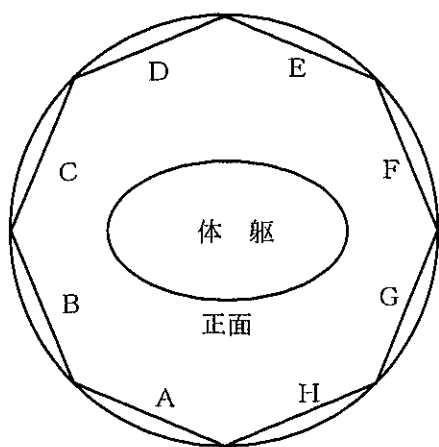
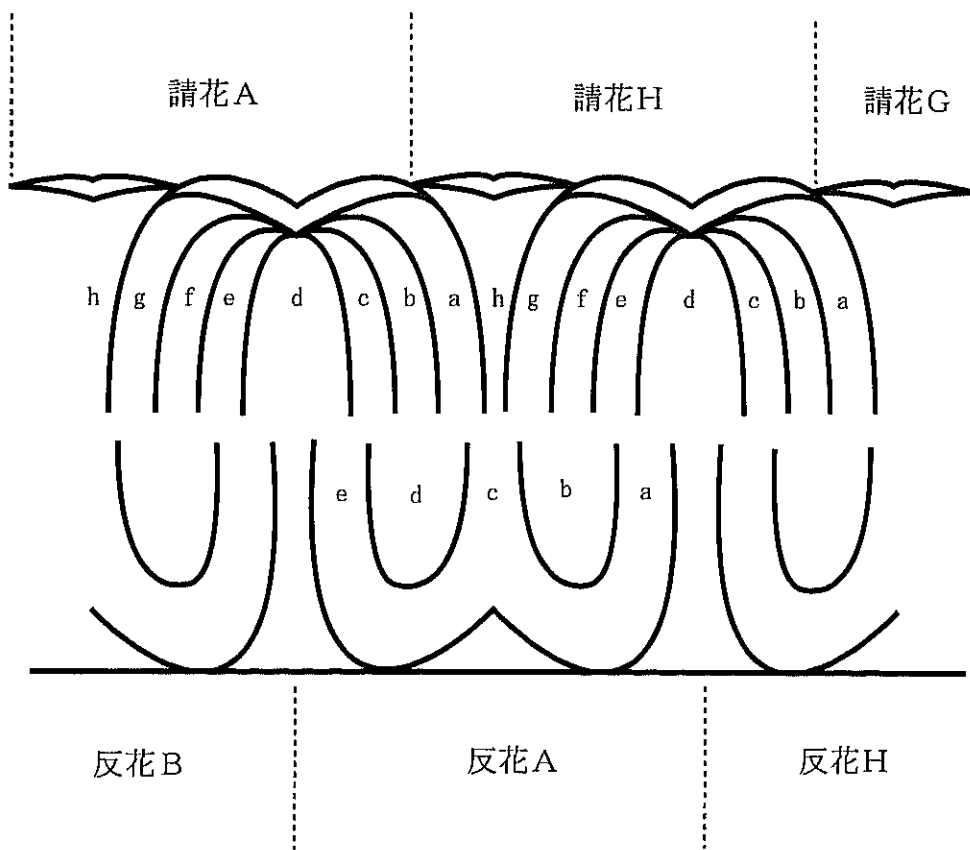
小川戸邑 ⁸	名主
長左門	喜兵衛
組頭	角左門
喜右門	吉右門
新兵衛	庄右門

右側面B(e)

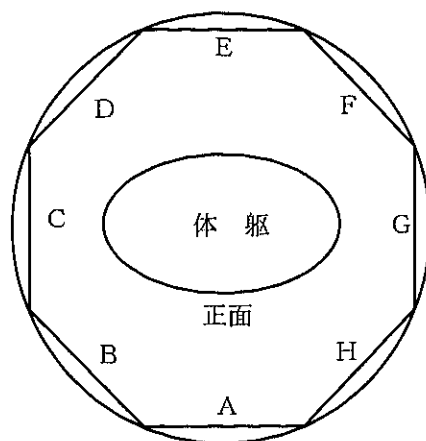
道正	新生村 ³
妙教	名主大膳
浄真	組頭源五左門
妙青	惣右門
慈円	彦左門
□入	
高上村 ⁹ 名主	長右門
太兵衛	組頭中

左側面A

清水	重郎右衛門
金二分	安中木村
金二分	戸内源左衛門



請花



反花

台座部分

(九)

(a)

五兵衛
弥右門
惣左門
加兵衛
茂兵衛

(b)

道雪	大根村 ^①	中智道	心勤	化衆	中
良達	ヲセン	ヲシロ	ヲマツ	妙咏信女	
甚兵衛	利三右衛門	椿右衛門	ヲトク	妙与信女	
六郎兵衛	八郎左衛門	忠右衛門	ヲマツ	ヲナツ	ヲサル
字右門	清衛門左	玄之丞	ヲクル	ヲセン	ヲトラ
利右門	忠兵衛	伝藏	ヲタク	ヲウタ	玉(一)昭信士
与兵衛	源右門	源左門	ヲサル	ヲトウ	道行四十八人
六左門	次郎左衛門	源左衛門	ヲミク	ヲク	
作次郎	次郎兵衛	源次左衛門	ヲカメ	ヲチヨ	
左兵衛	次郎衛門左	平右衛門	ヲナツ	ヲク	
	十兵衛	ヲトウ	ヲヨメ	ヲチヨ	
	清右衛門	ヲカメ	ヲク	ヲク	
	利右衛門		ヲアユ	ヲイヌ	

(c)

七郎右衛門 カミマツムラ シノハラムラ^② ヲクハク 八兵衛

長二郎	清右門	甚右門	ヲ子イ	ヲイセ
善治郎	七郎右門	カマツカ	ヲタチマ	月ヒサキ
源次郎	吉兵衛	与右門	ヲクラ	作右衛門
三郎右門	源右門	サハウ	ヲマツ	太郎右門 ^③
作太夫	カマタムラ	太郎兵エ	ヲナツ	モリトムラ ^④
忠兵衛	ハヤト	日女房	ヲカメ	ブエモン
伝兵衛	八左門	二ヶ村分	ヲカメ	利右門
善兵衛	惣右門	次左門	ヲセン	矢ハキ
伝右門	三郎	ヲノムラ ^⑤	長兵衛	五郎右門
	清左門	大右門	六右門	長山邑
		与兵エ	与兵エ	平兵衛
		同行五人	大サキ	藤右門
		同行六人	清右門	

(d)

三十郎
勘兵衛
八郎兵衛
弥兵衛
長四郎
勘兵衛
孫左門
彦兵衛
利兵衛
五郎兵衛

(e)

源右門

伊兵衛
与右門
庄九郎
源兵衛

反花B

(a)

仁兵衛
佐平次
三左門
久二郎
勘右門

(b)

市兵衛
孫兵衛
勘二郎
六右門
喜兵衛
庄五郎
善兵衛
一郎兵衛
六兵衛
善兵衛

次郎右衛門

貞蓮 大根村^①
秀

行知房

助右衛門

佐兵衛
作右衛門
与兵衛
常念
ヲツル

惣右衛門

助之丞

庄左衛門

太郎左衛門
刑部

(c)

安兵衛
吉二郎

長兵衛
吉右門
平三郎
平十郎
文太夫
清右門
伊右門
權兵衛
甚二兵へ
茂左衛門

(d)

八郎左衛門
八郎兵衛
作右門
一郎兵衛
与八郎
松右門
宇平次
長右門
与八郎衛門
德兵衛
吉一郎兵衛

次兵衛
孫兵衛
与右衛門
長五郎

ヲヒメ
ヲナン

鏡恵
二親菩提

妙秋

為二親
妙月

ヲステ
常知
妙正
道正

西心
定四良

新兵衛

ヲユリ

小川戸村^②
ヲカメ
ヲマツ
ヲステ
ヲクチ
ヲトラ
ヲミイ

ヲルス

四郎右衛門

ヲマン

ヲイヌ

ヲサル
太兵衛

善左衛門
善左衛門
大郎右衛門
五郎兵衛
兩君新左衛門父母
道祐
道順
道光
妙光
門四郎
市左衛門

(一一)

ヲタ子
ヲマン

(e)

門四郎
八左門
善太郎
一郎兵衛
四郎兵衛
浄光
俗名ミナミ
彦左門
妙讚

反花 C

(a)

三郎兵衛
庄右門
吉兵衛
久四郎
茂兵衛
妙観
二郎右衛門
介右衛門
六郎右衛門
妙善
ライヌ
二親菩提
二親菩提
妙観
二親菩提

(b)

八兵衛
三郎兵衛
善四郎
彦三郎
重七郎
イチャマ[㊤]
縫右門
ヲサル
伝之丞
ランヨロ
タハマウ
所左衛門
山クウ
幸善
ツキウラ[㊤]
カクウ
藤右衛門
ヨコヤマ[㊤]
十左門
□ノウ
カシマ
真教

四郎兵衛
源右門
作兵衛
勘左門
次兵衛
四郎兵衛
与五右衛門
ニイチハ
新左門
長右門
同行七人
ミクラ[㊤]
新左衛門
長兵衛
忠兵衛
庄右門
古円
勘之丞
形部
ヲツ部
権之丞
長左門
弥右門
六夕
清左門
ケ十郎
一郎兵衛
タカツハラ[㊤]
伝左門
フタ
九右衛門

(c)

久右門
又次郎
作次郎
五郎兵衛
太右門
権四郎
新吉
利兵衛
一郎右衛門
左兵衛
おまつ
権二郎
市郎右衛門
ヲカメ
権太郎
妙号
妙蓮
寿貞
七郎左衛門
又三郎
小伝次
太右衛門
与右衛門
六右衛門
おすて
子八人菩提
半介
永爾
又三郎
ヲキク
ヲマツ
ヲヒサ
ヲタツ
ヲマツ
ライヌ
ヲハツ
ヲトウ
ヲクニ
ヲカメ
ヲツル
ヲハル
ヲナツ
ヲハル
ヲチヨロ
ヲサン
ヲハル

(d)

三十郎
吉兵衛
平山村[㊤]
新右門
妙照
カウヤマウ
久兵衛

仁右衛門 道知 弥五右衛門
 安兵衛 市郎右衛門 おせん 五郎八
 善次郎 太郎兵衛 浄光 吉兵衛
 権八郎 為母 ヲタケ
 庄二郎 太兵衛 ヲハツ
 久兵衛 安左衛門 おふし ヲフチ
 玄庵 清兵衛 おたけ ヲナツ
 勘右衛門 ヲミイ 妙忍 ヲヒメ
 □左衛門 五郎兵衛 ヲチヨ ヲマリ
 彦三郎 法念 ヲクニ ヲトウ
 ヲツル
 ヲカメ
 ヲヨシ

市藏 作兵衛 ヲマツ 加左衛門 宗右衛門
 角助 八兵衛 源太夫 太郎右衛門 四郎左衛門
 林兵衛 与右衛門 八右衛門 仁兵衛 平兵衛
 仁兵衛 清十郎 介右衛門 角右衛門 甚太郎
 八兵衛 八兵衛 八左衛門 半介

(e)
 市兵衛 小川戸[㊦] 長左門 喜兵衛
 勘右衛門 妙円 与三左門 喜右衛門
 長兵衛 二親菩提 庄右門 利左門
 太兵衛 与一郎 新兵衛 吉右門

(b)
 権太郎 柴岸 三郎右衛門 五郎左衛門 六次郎
 四郎兵衛 妙玄 介之丞 甚之丞 七右衛門
 伊太夫 夏月 三郎兵衛 利右衛門
 四郎兵衛 吟照 ヲタン 久兵衛 太左衛門
 喜左衛門 ヲマキ 弥兵衛 藤右衛門 一右衛門
 次郎兵衛 浄尊 七郎兵衛 清右衛門 久右衛門
 喜右衛門 妙音 長玄 勘兵衛 清兵衛
 空妙 妙秋 弥右衛門 門左衛門 インキヨ
 □左衛門 浄清 武右衛門 与右衛門 太兵衛
 三十郎 常真童子 金左衛門 四郎右衛門 介右衛門
 七郎右衛門 宗兵衛 一左衛門 佐左衛門 彦十郎
 意仙 茂左衛門 彦四郎
 権兵衛

反花D

(c)

(a)
 与吉郎 宗七郎 徳左衛門 甚之丞

勘兵衛 マツキシ[㊦] き左衛門
 □衛 平右衛門 七郎左衛門
 同内義 カキ子[㊦] セン六
 三兵衛 甚右衛門 弥兵衛
 長介 アラオイ[㊦] 吉兵衛

善右衛門
安兵衛
七兵衛
権兵衛

尼七人
善心坊
妙円
カウヤ村[㊦]
森右門

伝兵衛
加右衛門
善兵衛[㊦]
セン右衛門

ヘ夕村[㊦]
弥左衛門

勘左衛門
宇右衛門
二郎兵衛
角兵衛

(d)

喜平次
権兵衛
嘉平次
甚太郎
清左衛門
五郎七
甚左衛門
源二郎
権介
二郎八
甚左衛門

仁兵衛
カウヤ村[㊦]

アラ[㊦]
オイ

庄兵衛 念仏カウ
ヤ右衛門 妙光徳円
カン二郎
カン太郎 青八木左次右衛門
セエ太郎 大木喜右衛門
与三左衛門
源□[㊦] カウヤ 彦右衛門[㊦]
サ平二[㊦] かき子[㊦]
九兵衛 三郎右衛門
チン兵衛 ヲカメ ヲギイ 弥一
カン兵衛 ヲヒイ 八郎右衛門
五郎左衛門 ヲセシ
さ左衛門 三太夫
き右衛門 仁右衛門 与兵衛
セン兵衛 庄左衛門 一郎左門
い左衛門 カウヤ[㊦] 弥五右衛門

反花E

(a)

源右衛門 光忍
源右衛門 二親善
源右衛門 妙臨
喜右衛門 玄祐 インキヤ
権兵衛 妙秋
伝四郎

(b)

市左衛門 キ右衛門 卓證 アラオイ[㊦]
長吉郎 介右衛門 教栄 茂兵衛
佐三郎 平左衛門 浄林 角二郎

ミヤ子 二郎介

(e)
五助 二親成仏
惣右衛門 二親成仏 二郎左衛門
伝三郎 光寿 勘兵衛
長十郎 二郎右衛門
権二郎 光子證讚
リ平二
二右衛門
一左衛門

「 仁平次 清十郎 庄次郎 惣兵衛 新左衛門 善兵衛	〕 七イ右衛門 ヒコ兵衛 新九郎 五郎七 五兵へ 二郎兵へ 甚左衛門	法林 日達 半七右衛門 甚右衛門 伝三郎 妙法 昌金	三郎右衛門 仁平二 三郎兵へ 六郎右衛門 ヒコ左衛門 七郎兵へ 源左衛門	全京	清七郎 長十郎 仁左衛門 長七 ウ左衛門 コム右衛門 マコ兵へ 六三郎	彦左衛門 サク左衛門 源の丞 源兵へ 太郎左衛門 介右衛門 六郎兵衛 五二兵衛
--	---	--	--	----	--	--

(c)

忠兵衛 勘太郎 市兵衛 一兵衛 甚右衛門 □平次 □左衛門 □十郎 □兵衛 □右衛門	チクコ マコ一 五郎右衛門 忠兵衛 五左衛門 源左衛門 五介 長左衛門 長兵衛 三の丞 久四郎 久左衛門	新左衛門 妙照 道善 朴円 貞心 九平次 井之介 宗心 正観 与兵へ	小川戸邑 利左衛門 一兵へ 二郎兵へ 七左衛門 伝五郎 吉左衛門 勇兵へ 藤兵へ 与兵へ 三左衛門 八兵衛	勘左衛門 善右衛門 善兵衛 治右衛門 権左衛門 惣左衛門 与左衛門 太郎左衛門 平右衛門 太次右衛門 太左衛門 彦八兵衛	彦兵衛 八郎右衛門 庄兵衛 長作 五兵へ 角一 藤左衛門 キ三左衛門 徳右衛門 内匠 一兵へ 与三右衛門 孫右衛門 二郎右衛門 二右衛門 与一兵へ 又右衛門 長兵へ キミ左衛門	源五左衛門 源兵衛 源兵衛 五郎作 五兵へ 角一 藤左衛門 キ三左衛門 徳右衛門 内匠 一兵へ 与三右衛門 孫右衛門 二郎右衛門 二右衛門 与一兵へ 又右衛門 長兵へ キミ左衛門
---	---	---	--	---	--	---

(d)

安兵衛	妙菱	安兵衛	マコ右衛門
勘次郎	道閑	マコ左衛門	平兵へ
勘四郎	二親善	五郎右衛門	キ三郎
角右衛門	清左衛門	コン七郎	太郎右衛門
甚九郎	伊之介	セン四郎	五郎兵へ
五郎右衛門	源夏	仁平二	与二右衛門
長五郎	真安	忠右衛門	ヒコ左衛門
長次郎	作兵衛	庄二郎	久兵へ
善三郎	おたん	茂左衛門	チン左衛門
久三郎	長介	長左衛門	六郎左衛門
名洗	念仏中	平右衛門	六介
		源三郎	や兵へ
		き右衛門	五郎右衛門
		宗吉	長蔵
		や四郎	サク右衛門
		マコ右衛門	久右衛門
			トク右衛門

反花F

(a)

太郎兵衛	妙清
太郎兵衛	先祖
彦四郎	タカカミ ¹⁸
太郎左衛門	伊兵衛
九郎左衛門	水主
利兵衛	道保
	妙西
	妙安信女
	眷属牛馬
	三崎村七郎右衛門
	先祖二親妻子
	春了宗廣

(b)

甚右衛門	菩提	観空	小川戸念仏講中 ⁵
仁平次	二親善	喜平次	ヲチヨロ
十右衛門	菩提	与二兵衛	ヲナツ
勘兵衛	夫婦善	十左衛門	ヲナツ
徳右衛門	ヒクチ	ヲテウ	ヲナツ
惣二郎	八郎左衛門	浄花	ヲセン
八郎兵衛	二郎	ニシム善	ヲヤウ
安右衛門	安右衛門	四郎左衛門	ヲサン
長七郎	浄女	覚恩	小川戸念仏講中 ⁵
与左衛門	妙次	作左門	ヲユメ
利左衛門	ライヌ	妙心	ヲマツ
	ヲサル		ヲクニ
	甚坊	八郎左衛門	ヲイセ
	彦兵衛		ヲチヨロ
	作右衛門		ヲマケ
			ヲタン
			ヲイヌ
			ヲイセ
			也マ
			知円
			ヲナツ
			ヲユフ
			庄之介
			孫右衛門
			加兵衛
			ヲマ

(e)

山三母	妙円
安右衛門	妙円
次郎右衛門	毒林
三郎兵衛	ヲタ一
長四郎	自讃
	浄果
	小川戸村 ⁵

ヲタミ

(c)

安兵衛	ヲサル	ヲカメ	ヲチヨロ
宗兵衛	ヲセン	介三郎	飯沼田中念仏講中
太郎兵衛	ヲトウ	栄宗	ヲセン
ヲイネ	ヲクニ	清林	ヲイヌ
藤左衛門	妙春	甚左門	ヲマン
源右衛門	道覚	清言	ヲトウ
彦次郎	壽貞	ヲツマ	ヲミイ
清二郎	ヲトラ	ヲクマ	同行十人
藤十郎	五郎兵衛	妙閑	
庄右衛門	ヲトラ	四五右衛門	
浄光			

(d)

太郎左衛門	ヲ百	道閑
長四郎	源兵衛	清権
久兵衛	妙照	兆源
勘助	知親母	兄弟タメ
惣十郎	小右門	イチマツ
与一左衛門	藤左衛門	ウナカミ
庄左衛門	ハ、ア	主膳
弥次兵衛	サ兵衛	源太夫
善右衛門	三十郎	ヲイセ
弥平次	惣兵衛	半兵衛
善兵衛	清左門	久兵衛
勘左衛門	源右衛門	妙寿

ヲヨ子

(e)

亦兵衛	妙菊
長四郎	妙梨
吉三郎	谷津村
善四郎	玄水
長兵衛	彦兵衛

反花G

(a)

長兵衛	二親善	彦三郎
吉左衛門	六兵衛	カウウム坊
□三郎	ヲカメ	
伝左衛門	又兵衛	

(b)

アラライ村	今ミヤ
五郎兵衛	ヲチヨロ母
明知	妙法
藤左門	常讚
ヲサハ	代々
同母	妙清
惣左門	直知
	ニシム

(一七)

(c)
妙善
道慶
道光
妙月
淨心
了識

下長イ

惣右門 妙観 直範
惣右門 道海 道門
惣左衛門 妙等 妙想
藤兵衛 道裕 ニシン
彦太郎 妙蓮 淨心
惣二郎 花林 知察
内ギ 一言 道証
ヲヒツ 壽貞 妙覚
ヲタム

(d)

伊貝根

田中清左衛門内義念仏講中
三太郎 妙教妙証一切子共タメ
善三郎 新生村念講
八兵衛 かうや村太郎左衛門内方念仏講中
六太夫 飯沼邑田中惣兵衛 孫三郎
長十郎 孫三郎 茂兵衛
太右門 三郎兵衛 加平次
長右門 長次郎 善四郎 惣七

反花H

(e)

弥兵衛 藤藏 権右門 惣兵衛
妙秋 庄三郎 杉兵衛 佐兵衛
太兵衛 甚五郎 清右門 与市
三四郎 三四郎 久三郎 右兵衛
喜左門 徳介 喜兵
茂兵衛 長八郎 長五郎
吉兵衛 七兵衛 甚五郎 与次兵衛 二郎兵衛
太右門 久作 庄三郎 権四郎 彦十郎
惣右門 庄九郎 長右門 五郎左門 平兵衛
傳四郎 守兵衛 茂一郎 源十郎 甚十郎
長三郎 長五郎 市右門 利兵衛 市兵衛

(a)

甚之丞 権三郎 又右門 藤兵衛
佐次兵衛 金之丞 伝兵衛 惣七郎
八兵衛 伝三郎 九郎兵衛 彦左門 太次
善右門 長五郎 庄左門 三郎兵衛 長七
治兵衛 源三郎 甚右門 弥平次 仁兵衛
清三郎 太兵衛 五郎左衛門 市兵衛
庄兵衛 与

(一八)

(b)

飯沼邑後飯^②

忠兵衛	德右門	甚六	長左門
又左衛門	清左門	加兵衛	惣五郎
太兵衛	傳兵衛	忠三郎	門兵衛
市兵衛	七兵衛	八左門	市兵衛
左兵衛	甚四郎	五左門	左兵衛
与吉郎	喜兵衛	德左門	伊兵衛
忠右門	仁平次	〔	奎兵衛
平三郎	長右門	權兵衛	源左門
同母	德兵衛	三郎兵衛	勘六
七兵衛	八兵衛	彦三郎	清左門
	惣左門	才三郎	喜平次
	四郎兵衛	彦左門	平二郎
		一兵衛	
			長右衛門
			平兵衛
			甚太郎
			伝兵衛
			七郎右衛門
			一郎右衛門
			金左衛門

(c)

六郎兵衛	半七郎	九兵衛	四郎五郎	庄兵衛
善左門	平左門	新四郎	權二郎	市郎兵衛
六兵衛	又四郎	与兵衛	加兵衛	長七
治兵衛	庄九郎	長介	法林	市兵衛
安兵衛	惣右門	市三郎	長助	三郎兵衛
善六郎	八三郎	左平次	長太夫	四郎兵衛
甚三郎	市三郎	久右門	源藏	十左門
六良左門	清右門	兵右門	十二郎	〔
吉兵衛	山三郎	門三郎	庄右門	清左門
太兵衛	仁兵衛	長十郎	伊兵衛	新右門

(d)

長兵衛	孫左衛門	久四郎	清右門	長次郎
又兵衛	与兵衛	長七	伝三郎	權太郎
忠兵衛	久次郎	伊左門		權次郎

(e)

四日市 ^②	八兵衛	甚兵衛	吉右衛門	甚	作吉
善右衛門	長四郎	勘太郎	小兵衛	德兵衛	久兵衛
清左衛門	源次郎	門之丞	安左衛門	長三	七兵衛
十郎右衛門	善右門	七兵衛	平右衛門	源太郎	藤兵衛

勘左門	新八	喜兵衛	長二郎	平七郎
宇兵衛	七右門	角次郎	伊兵衛	久介
源兵衛	長三郎	太右門	入左門	甚五郎
長作郎	甚右門	權右門	春庵	社仙
七兵衛	源吉	久兵衛	弥兵衛	五郎兵衛
角兵衛	源兵衛	長右門	与四太夫	勘七
甚三郎	勘介	彦右門	勘三	四郎右衛門
久兵衛	甚四郎	平左門	權左門	甚兵衛
惣四郎	忠兵衛	久右門	十兵衛	五兵衛
	源右衛門	藤左門	利兵衛	長十郎
	宇左門	善七	善兵衛	善四郎
	權兵衛	喜兵衛	長兵衛	吉三郎
	孫兵衛	佐平次	勘十郎	兵助
		六郎兵衛	善一郎	三大夫
		三右門	六三郎	三郎兵衛
			長四郎	

(一九)

吉兵衛 源五左右衛門 三十郎 甚三郎 利八
山三郎 長兵衛

請花 A

(a)

三九郎 六兵衛 幻ヶ井
七兵衛 六左門 宗サニ
次郎左衛門 庄兵へ ヒコ兵衛
与三左門 庄三郎 太郎兵衛
孫市 十郎兵衛 清三郎
半四郎 万右衛門 六左衛門
甚九郎 小左衛門 久五郎
三郎右衛門 セン六 彦左衛門
定右門 吉右衛門 孫右衛門
与右衛門

新生村中[㊤]

(e)

四郎兵衛 甚三郎 長五郎 四郎兵へ
太右門 門十郎 四郎右衛門 勘三郎
惣三郎 庄左衛門 マコ兵へ 久三郎
利兵衛 権七 惣兵へ 甚五郎
八郎右衛門 平兵へ アマフヤ
長三郎 や右衛門 兵右衛門
セン太夫 仲右衛門 平左衛門

与兵へ

(f)

高神村[㊤]

新左門 勘三郎
清右門 七郎右衛門
与五右衛門 四郎左衛門
清左衛門 セイ七
三郎兵へ 勘太
セイ兵へ 次左衛門
庄介 新兵へ
太次右衛門

(g)

勢恵 庄兵衛 権左門
光明講中 聖円 与三右門
源之丞 新左門 次郎兵へ
勘左門 小左門 治郎兵へ
五左門

(h)

道光禪定門
淨香院梅堂自咲居士
龍雲玄機信士

(a)

甚右衛門	伝左衛門	ヲヒナ	源五左衛門	ヲトラ	ヲチヨロ
ヲタメ	ヲテウ	ヲチヨロ	ヲツル	ヲチヨロ	
佐平二	おまつ	一の介	五郎左衛門	安左エ門	ヲミイ
ヲセン	ヲヤク	ヲイヌ	三郎兵衛	三郎兵衛	ヲセン
ヲチヨロ	長兵衛	ヲフリ	ヲクニ	ヲヒキ	甚太郎

(b)

キ兵エ	一兵エ	ヲミイ	イソ	祐心
ヲマチ	ヲトラ	ヒコ四郎	ヲタケ	吉兵エ
ヲナツ	六郎左エ門	妙蓮	チハウ	妙春
ヲイセ	ヲタケ	おちよろ	ヲヤウ	ヒコ十
ヲハル	ヲハル	金左エ門	おすき	太郎一
おせん	長兵エ	三郎エ門	七郎兵エ	二郎左エ門
甚九	ヲカ	ヲサル	平左エ門	ゼン兵エ
	長八	介の丞	定西	ヲカメ
				七兵エ

(c)

与右エ門	ヲマツ	妙セン
ヲイヌ	ヲカマツ	子、
太左エ門	ヲカメ	新太郎
ヲマツ	ヲサル	ヲヒサ
ヲヒツ	六三郎	二郎左エ門
ヲセン	おいせ	キ兵エ
		ヲチヨロ
		ヲマツ

(d)

ゼン左エ門	おはつ	ヲミキ	ヲハル	ヲマツ	ヲナツ
セントイ作十	ヲツル	ヲヒロ	六之介	ヲナツ	安右エ門
ヲフウ	サウ右エ門	太右エ門	七の介	ヲカメ	

一切餓鬼法界菩提	次兵へ		
妙玄	平右門	清九郎	十三郎
了仙	伊兵衛	清三郎	長四郎
伐全先祖	とらの介	セン一郎	
玄清	ヲイタ	トメ之介	四郎左衛門
妙真	ヲマリ		二郎右衛門
田中	鈴木	清右衛門	新左衛門
			五兵へ

(e)

新	伝藏	善兵へ	九兵衛	十三郎	角右門
生	忠二郎	十兵へ	茂吉	キ右門	権七
村	茂左衛門	セン四郎	伝七	源兵衛	三右衛門
中	新兵へ	甚兵へ	長四郎	太次兵へ	コン七
	伝藏		吉兵へ	七左門	利右衛門
			キ左衛門	忠兵エ	吉十郎

(f)

宗七	吉左衛門	仁兵衛	弥兵衛	伝兵衛
同	介右衛門	忠右衛門	介右衛門	増右衛門
	安二郎	左兵衛	新兵衛	善六
邑	二郎右衛門	四郎兵衛	勘介	善兵エ
				兵左衛門

門左衛門 長二郎 六兵衛 弥三兵衛 源兵衛
 忠藏 久三郎 儀左衛門 平兵衛 弥五右衛門
 宗四郎 五右衛門 甚兵衛

(g)

清左衛門
 忠兵衛

請花 C

(a)

新 六郎兵衛 三郎兵衛 喜兵衛 新右工門
 庄右工門 キ八郎 弥兵衛 伊左工門
 生 甚左工門 三右工門 又藏 半兵衛
 吉兵衛 弥右工門 八兵衛 半七
 村 源右工門 一郎左工門

(b)

同 善兵衛 平右工門 久右工門
 善太郎 甚兵衛 利兵衛
 庄兵衛 門四郎
 村 德兵衛 仁介
 弥兵衛 弥左工門
 長左工門

松岸念仏中

(c)

三崎念仏中
 辺田念仏中
 芝崎念仏中
 四ヶ一八念仏中
 ヲサカニ親菩提

(d)

今宮念仏中
 小川戸念仏中
 笠上念仏中
 高上念仏中

(e)

(f)

(g)

(h)

諸花 D

(a)

妙栄
道鏡
助十郎
介次郎
次郎兵衛
カウヤ村^⑤
ワマサ

(b)

相馬^⑤ 二親菩薩
松村権之丞
同 長五郎
渡部甚三郎
同 金兵衛
同 市左衛門
阿辺源吉
高橋吉左衛門
佐藤仁兵衛
同 三郎右衛門
棚増伊兵衛
浦尻金十郎

(c)

立谷山三郎
同 権六
佐藤尚兵衛
横山武兵衛
同 平十郎
同 四郎次
仙台^⑤
金子十左衛門
同 十兵衛

(d)

南部^⑤
前川次兵衛
同 五郎兵衛
同 伝吉
同 金三郎
大抱一十郎
舟越長介
大畑加兵衛
アラオイ^⑤
トク兵衛
ヨシ兵衛
リ兵衛
十兵衛
五兵衛
セイ七
トク三郎
八兵衛
太兵衛
ヒコ四郎
リ左衛門

(e)

玄家法印
妙範信女
水戸^⑤
大与礼悶

(f)

小林平八遍与

(g)

妙円 ヒタチ別所
道空 大塚彦右衛門 為心鏡
道秀 水戸川サキ
妙鏡 露光童子
甚右門

清光 　　たかたや吉五郎

(h)

唐人

中西八兵衛 　　小見川 七兵衛六親

請花 E

(a)

八兵衛 一兵衛 権三
十右衛門 大正院 長藏 惣介
太郎二 六左衛門 七右衛門 権兵衛
浄入 五太門 仁兵衛 善四郎

(b)

庄八
アマヤ 三郎兵衛
井ンキヨ 甚右衛門
妙円信女
江畑藤左衛門母 彦右衛門
権十 左左衛門 七郎右衛門
権右衛門 四郎右衛門
久太衛門
介五郎

(c)

房州屋五兵衛
坂東世三親音 多田善右衛門
施主仲間新生村 同善三郎

(d)

サウマ[㊦]
久三郎 道清 春属 妙如
伝二郎 妙浄 妙光 道範
道光 浄空 妙鏡
妙薰 六親 道鏡

(e)

甚右門 道本
七藏 道善 新右衛門
金左衛門 道白 久三郎
吉三郎 説宗 左平二
源右衛門 妙照 甚兵衛
妙幻 妙戒比丘尼
六左衛門 八郎兵衛

(f)

善右衛門
与五左衛門 五郎太夫 辺夕[㊦]
孫兵衛 フヨシ 勘之丞

浄西
京玉院

道キウ

アシサキ⁽⁸⁾

源兵衛

ヲサル

真栄

伝兵衛

三石門

タカノミ

六兵衛

女房

善兵衛

仁兵衛

妙幼

自生

忠兵衛

タカノ⁽⁸⁾

源太郎

清左門

ヲハル

説宗

(g)

妙巖

甚右門

随玄

仁兵衛

二兵衛

ヲマツ

五郎兵衛

甚太郎

勘兵衛

セイ兵衛

八郎左エ門

源太郎

一兵衛

セイ兵衛

権之丞

三郎右エ門

太平二

六郎兵衛

徳兵衛

(h)

道清

一切俄鬼

秋月

秋光

空門志

夏月

清光

一切俄鬼

ケイ覚

妙應

請花下

(a)

清蔵

道達

ヲツウ

妙清

浄安

妙真

金應

浄宗

二親

浄心

正受

常心

イツミヤ
権七

道証

妙春

妙玄

妙ハシ

覚了

道春

(b)

証光

妙法

道保

秀連

了海

教栄

知淫

了円

嚴常

妙閑

妙晶

清運

ラ子イ

應休

長三

秋月

月光

妙春

妙吟

ラミイ

道古

ヲマ

心覚

妙ケン

ラカメ

シナツ

妙観

妙秋

(c)

理鏡

ヲハル

照女

庄八

妙槃

二親

妙栄

通岸

道詮

ヲフケ

清光

妙休

岸秀

ヲヒヤク

観西

角左門

妙順

妙源

宗運

ヲチヨロ

(d)

二親、タメ

ヲマツ

道香

ヲトラ

安室

二親 菩

菩提

ヲマツ

金秀

ヲトラ

ヲチツ

ヲマン

妙春

(e)

淨運

菩提

一切

菩

ヲタニ

ヲタイ

ヲミイ

ヲカメ

イセマツ

伊兵エ

ヲステ

妙光

(f)

ヲヒメ

ヲアキ

ヲイヌ

ヲナツ

ヲチヨロ

ヲフ子

ヲマン

ヲタケ

ヲナツ

ニシン

妙善

善兵衛

(g)

ヲハル

ヲセン

妙真

ヲセン

ヲナツ

介二郎

ヲタニ

秋勘

(h)

平右衛門

与次右衛門

平右衛門

善兵衛

ヲサン

二親

ヲシマ

ヲカメ

讀花 G

(a)

吉兵衛

権四郎

五郎左衛門

四郎右衛門

浄円

二郎

二親

五郎兵衛

ヘタ¹⁶

大坂庄兵衛

(b)

二親

宗源

ナカワカ

ヲトラ

妙蓮

妙栄

妙光

玄バン
惣右衛門
ヲタケ

(c)

ナンブアキタ^㉔
ニ親菩提
同三吉
妙知
ヲマン
妙泉
庄兵衛
ヲチヨロ
妙清
ヲトラ
ニシン
ヲロク
ヲトラ

(d)

妙真
妙栄
道悦
性覚
五太夫
代々
ミヤケ
四郎左衛門
ヲアキ
ヲマス
ヲチヨロ

(e)

新兵衛
ヲチヨロ
宇右衛門
長メイ
妙春
妙玄
善覚
妙春
ヲトメ

(f)

ライヌ
ヲマン
ヲハツ

ヲタマ
長太
ヲカメ
ヲシマ
ヲチウ
妙円
玉光

(g)

常知
妙照
善光
妙静
ヲサル
ヲチヨロ
ヲカメ
ヲセン

(h)

エチコ^㉕
六介
吉兵衛
与左衛門
「
」
ヲセン
ヲカメ
弥兵衛

請花H

(a)

代々
添無
ヲマツ
ヲタン
智空
ヲトラ

(b)

新兵衛

長七

ヲサル

清三郎

ナニアミヤカ

傳吉

(h)

深普是心

請花G台上部台座側面

俊恵
常清
妙鏡

(c)

妙負

了知

妙玄

道本

(d)

性林

淨益

ヲカメ

ヲカメ

(e)

(f)

香取郡大崎村施主

蓮華教院安得諦觀□弥

高木彦之進

(g)

体躯部分脚注

- (1) 下総国海上郡飯沼村のうち、現在千葉県銚子市。
- (2) 下総国海上郡今宮村、現在千葉県銚子市。
- (3) 下総国海上郡新生村、現在千葉県銚子市。
- (4) 下総国海上郡飯沼村のうち、現在千葉県銚子市。
- (5) 下総国海上郡辺田村、現在千葉県銚子市。
- (6) 下総国香取郡大戸川村、現在千葉県佐原市。
- (7) 下総国海上郡飯沼村、現在千葉県銚子市。
- (8) 下総国海上郡小川戸村、現在千葉県銚子市。
- (9) 下総国海上郡高神村、現在千葉県銚子市。

反花・請花部分脚注

- (1) 下総国香取郡大根村、現在千葉県佐原市。
- (2) 下総国香取郡篠原村、現在千葉県佐原市。
- (3) 下総国香取郡小野村、現在千葉県佐原市。
- (4) 下総国香取郡森戸村、現在千葉県佐原市。
- (5) 下総国海上郡小川戸村、現在千葉県銚子市。
- (6) 下総国香取郡伊地山村、現在千葉県佐原市。
- (7) 下総国香取郡三倉村、現在千葉県香取郡多古町。
- (8) 下総国香取郡次浦村、現在千葉県香取郡多古町。
- (9) 下総国香取郡横山村、現在千葉県香取郡大柴町。
- (10) 下総国香取郡高津原村、現在千葉県香取郡多古町。
- (11) 下総国香取郡平山村、現在千葉県香取郡東庄町。
- (12) 下総国海上郡松岸村、現在千葉県銚子市。
- (13) 下総国海上郡垣根村、現在千葉県銚子市。
- (14) 下総国海上郡新生村、現在千葉県銚子市。
- (15) 下総国海上郡荒野村、現在千葉県銚子市。
- (16) 下総国海上郡辺田村、現在千葉県銚子市。

- (17) 下総国海上郡高神村のうち、現在千葉県銚子市。
- (18) 下総国海上郡高神村、現在千葉県銚子市。
- (19) 下総国香取郡谷津村、現在千葉県東庄町。
- (20) 下総国海上郡今宮村、現在千葉県銚子市。
- (21) 下総国海上郡下永井村、現在千葉県海上郡飯岡町。
- (22) 下総国海上郡飯沼村のうち、現在千葉県銚子市。
- (23) 下総国海上郡飯沼村のうち、現在千葉県銚子市。
- (24) 下総国海上郡四日市場村、現在千葉県銚子市。
- (25) 下総国海上郡三崎村、現在千葉県銚子市。
- (26) 下総国海上郡芝崎村、現在千葉県銚子市。
- (27) 下総国海上郡飯沼村のうち、現在千葉県銚子市。
- (28) 相馬中村藩領か。
- (29) 仙台藩領か。
- (30) 南部藩領か。
- (31) 常陸国水戸。現在茨城県水戸市。
- (32) 下総国海上郡芦崎村、現在千葉県銚子市。
- (33) 下総国海上郡高野村、現在千葉県銚子市。
- (34) 現在秋田県秋田市か。
- (35) 越後地方か。
- (36) 下総国香取郡大崎村、現在千葉県佐原市。